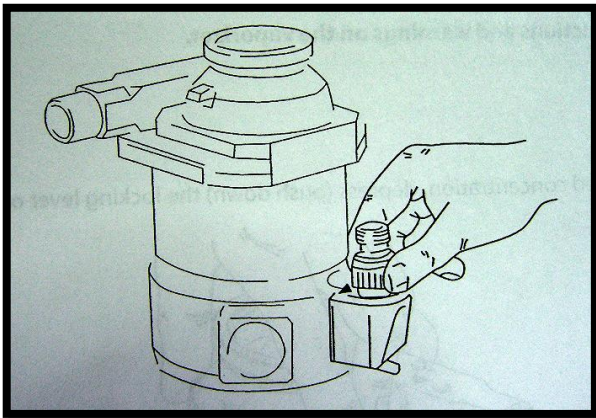




実験動物用麻醉器 TK-7 簡易マニュアル

薬液充填時は気化器ダイヤルを OFF にしてください。

1. 麻醉薬の充填



ドレンバルブの閉め方。
キャップを外し、キャップの頭を
ドレンプラグに差し込みます。
時計方向に回して、締めてください。

レベルゲージの上のラインまで麻醉薬を
入れてください。

入れ終わったら、キャップを元に戻し
しっかり締めます。

ロック解除ボタン

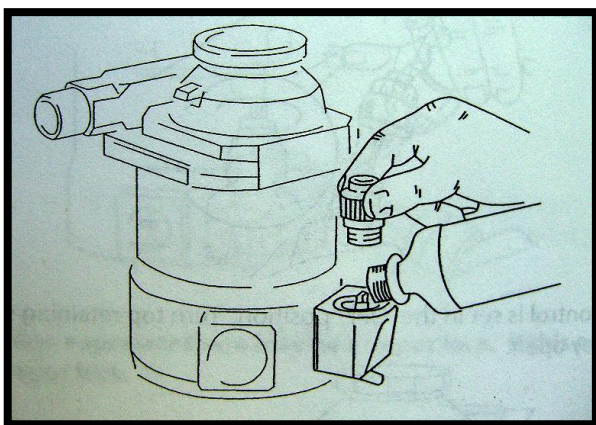
気化器ダイヤル

ドレンプラグ



レベルゲージ

ドレン口



麻醉薬を抜くときはドレンプラグを
半時計方向に廻すと、ドレン口から
薬液が出てきます。

*通常麻醉薬は入れたままで良い。



TK-7 簡易マニュアル

1. 麻酔薬の充填が終わったら、接続図を参考にして麻酔回路の形成。
2. 導入用タイトボックスに動物を入れ、導入麻酔に入ります。
3. 電源を ON、流量計で 1 L/分位にする。
4. 気化器ダイヤルを 2 – 3 %にして、切替バルブで導入用タイトボックスへ麻酔ガスを流す。
(早く導入麻酔を掛けたい場合は、フローメーターの流量を多く流し麻酔濃度を高くすると早く麻酔が掛かります。)
5. 麻酔が充分掛かったら、切替バルブで維持用マスク側に切り替えてください。
6. 導入用タイトボックスから動物を取り出し、すばやく維持用マスクに鼻先を入れてください。
(麻酔ガスは空気より少し重い為、タイトボックス内に残ります)
7. 維持麻酔は、フローメーターの流量を下げ (0.5L/分前後) 気化器ダイヤルで 2 %前後にして、動物の様子を見ながら適切な麻酔深度にして維持麻酔に入ります。
(麻酔の深度の調整は気化器ダイヤルで、0.5%刻みで調整してください。) 無駄な深麻酔はしないこと。呼吸が止まる危険性があります。
8. 麻酔の終了
気化器ダイヤルを OFF,電源を OFF で終了。
覚醒時間は 1~3 分ほどです。

注意：麻酔薬の充填、排液、麻酔器の持ち運ぶ時は気化器ダイヤルを OFF にしてください。横倒しにしないこと。

TK-7 接続例

